

Ⅲ 調査の結果

1 暮らし向き

問1 暮らし向き

お宅の暮らし向きは、今年の今ごろに比べて良くなりましたか。それとも悪くなりましたか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

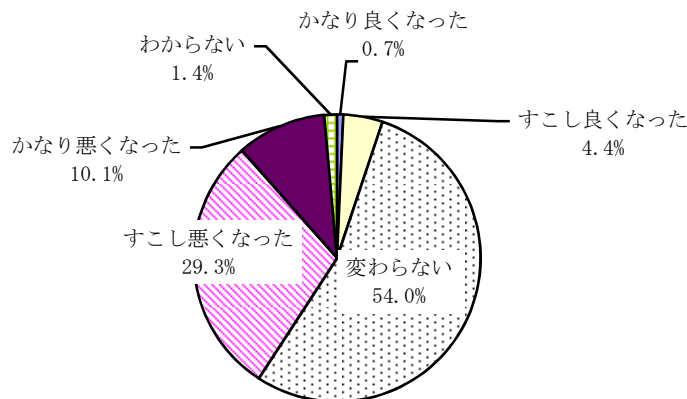
	(%)
1 かなり良くなった	0.7
2 すこし良くなった	4.4
3 変わらない	54.0
4 すこし悪くなった	29.3
5 かなり悪くなった	10.1
6 わからない	1.4

それは主にどういう理由によるものですか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(回答者=427人)	(%)
1 日常の生活費が増えた	37.7	
2 収入が減った(働き手が減った)	32.1	
3 営業不振、営業経費が増えた	3.3	
4 教育費が増えた	5.9	
5 特別事情による(結婚、出産、病気、災害など)	11.9	
6 その他	8.2	
7 わからない	0.9	

暮らし向きが昨年に比べて「良くなった」と思うか、それとも「悪くなった」と思うかを聞いたところ、「悪くなった」と答えた人の割合が、39.4%（「すこし悪くなった」：29.3%、「かなり悪くなった」：10.1%）、「変わらない」が、54.0%を占めている。

また、「良くなった」と答えた人の割合は、5.1%（「かなり良くなった」：0.7%、「すこし良くなった」：4.4%）であった。



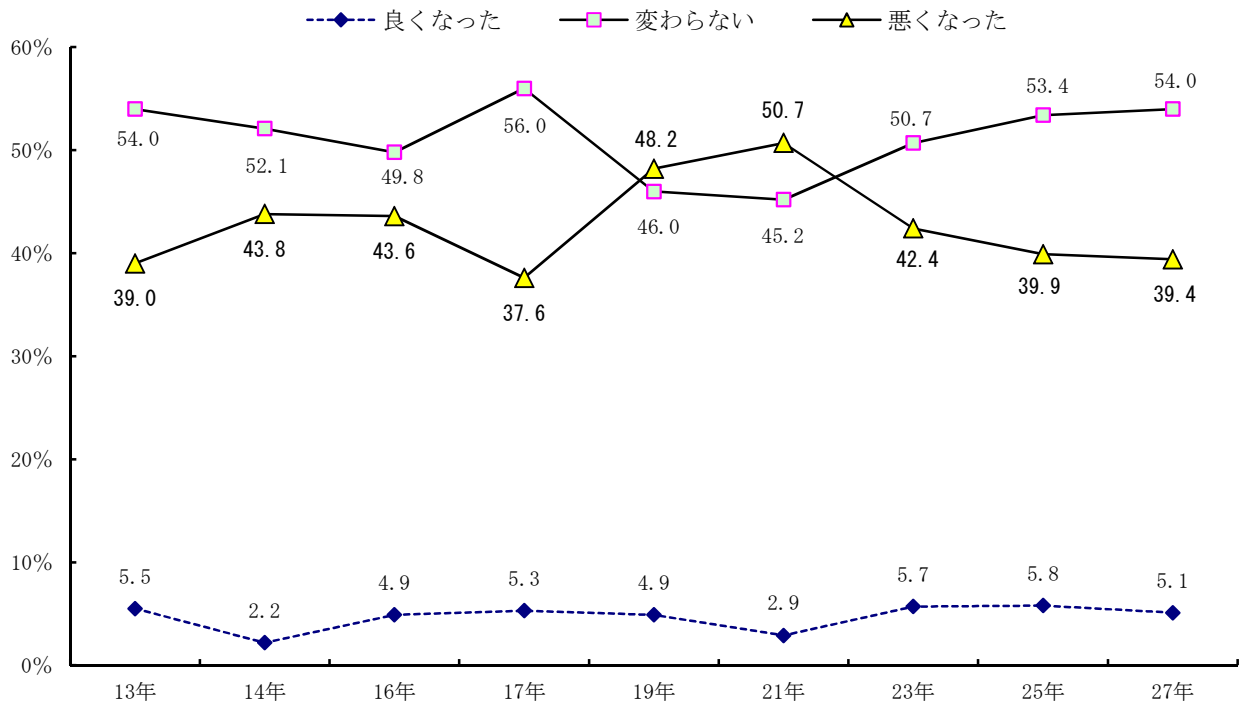
(悪くなった 39.4%)

(良くなった 5.1%)

【経年変化】

経年変化をみると、「悪くなった」と答えた人の割合が、平成21年から減少に転じ、平成25年調査（以下「前回調査」という。）と比較して0.5ポイント減少している。

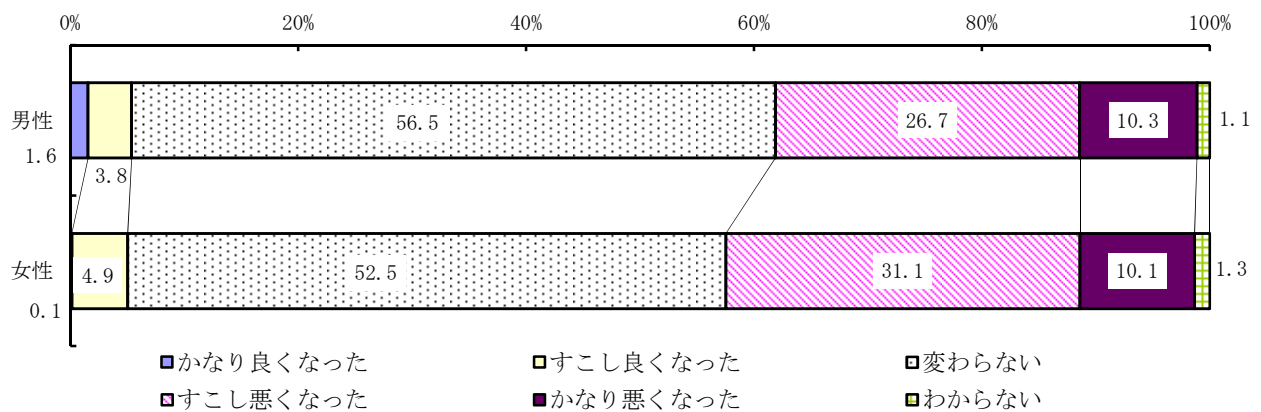
また、「変わらない」と答えた人の割合は、平成21年から増加に転じ、前回調査と比較して0.6ポイント増加しているが、「良くなった」と答えた人の割合は、0.7ポイント減少している。



【性別】

性別にみると、「良くなった」及び「変わらない」と答えた人の割合の合計は、男女共に50%を超えている。（男性61.9%、女性57.5%）

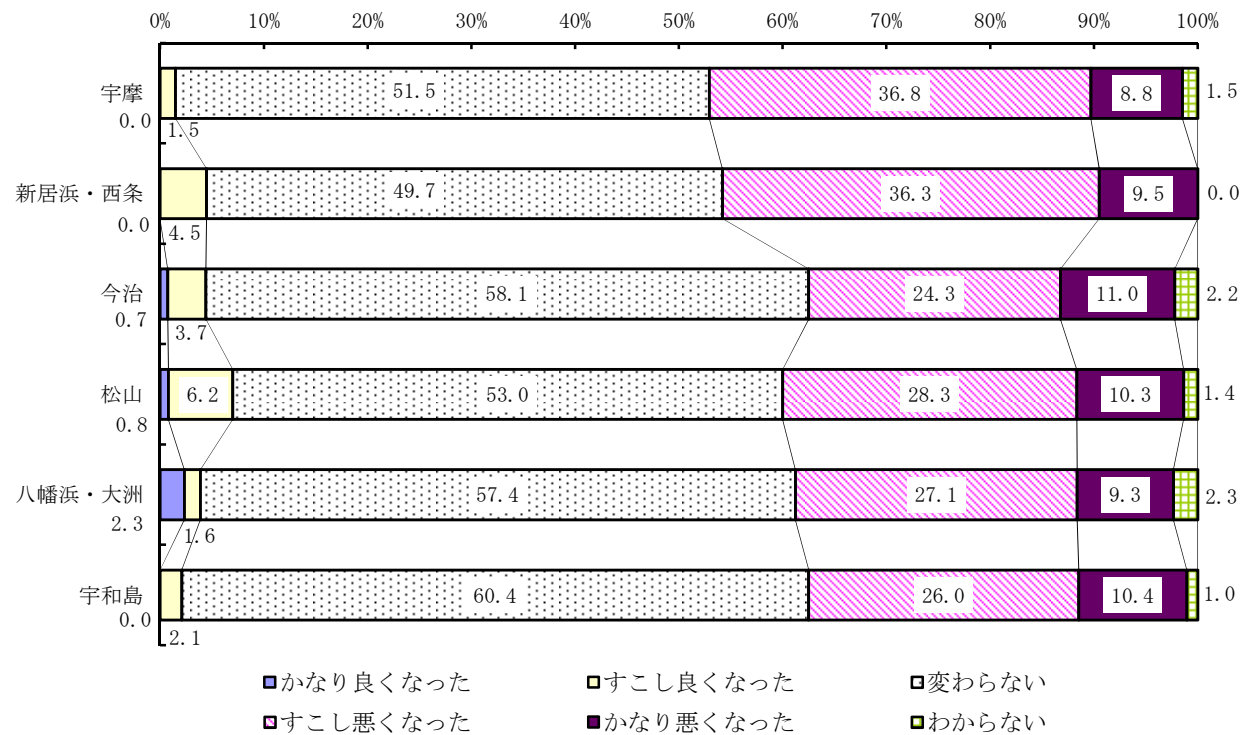
一方、「悪くなった」と答えた人の割合は、女性（41.2%）の方が男性（37.0%）よりも多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「変わらない」と答えた人の割合が最も多く、全ての圏域で概ね50%以上となっている。

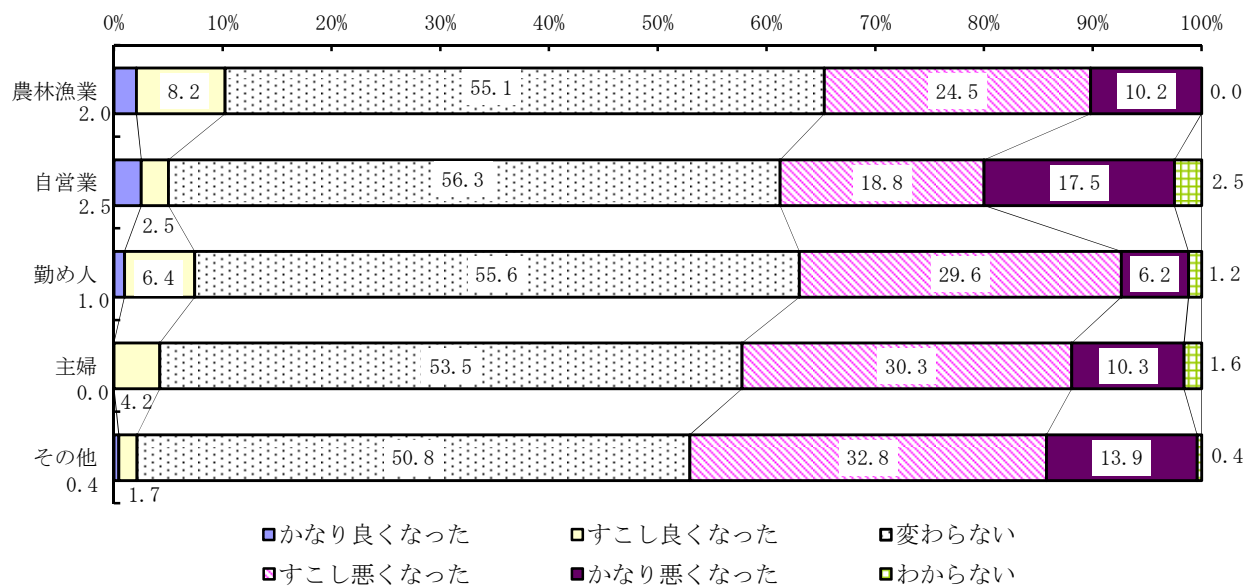
また、宇摩圏域では、「悪くなった」と答えた人の割合は、45.6%で、前回調査より10.7ポイント増加している。



【職業別】

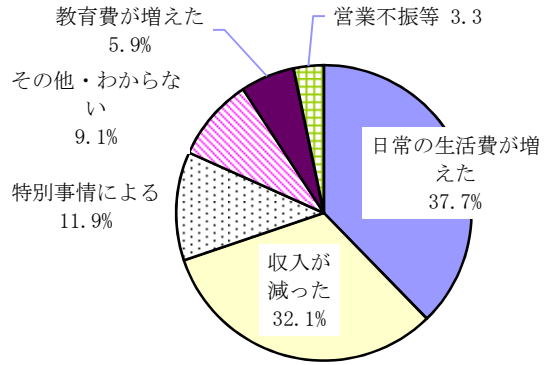
職業別にみると、自営業で「変わらない」と答えた人の割合が、56.3%で最も多く、前回調査と比較して17.8ポイント増加している。

また、主婦及びその他では「悪くなった」と答えた人の割合が、40%以上と多くなっている。



《暮らし向きが悪くなった理由》

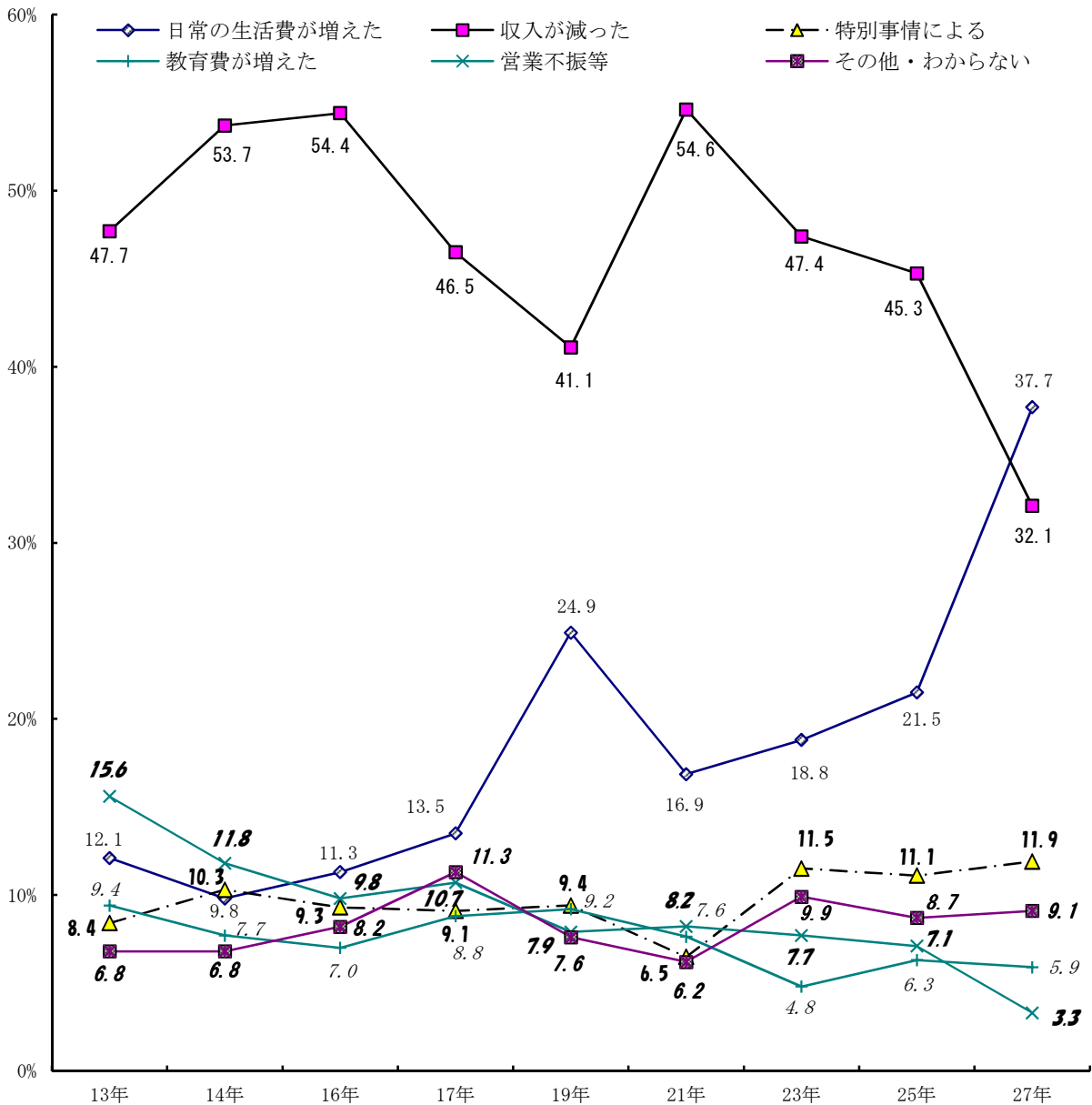
暮らし向きが「悪くなった」と答えた人に、その主な理由を聞いたところ、「日常の生活費が増えた」(37.7%)、以下「収入が減った(働き手が減った)」(32.1%)、「特別事情による(結婚、出産、病気、災害など)」(11.9%)、「その他・わからない」(9.1%)、「教育費が増えた」(5.9%)の順となっている。



【経年変化】

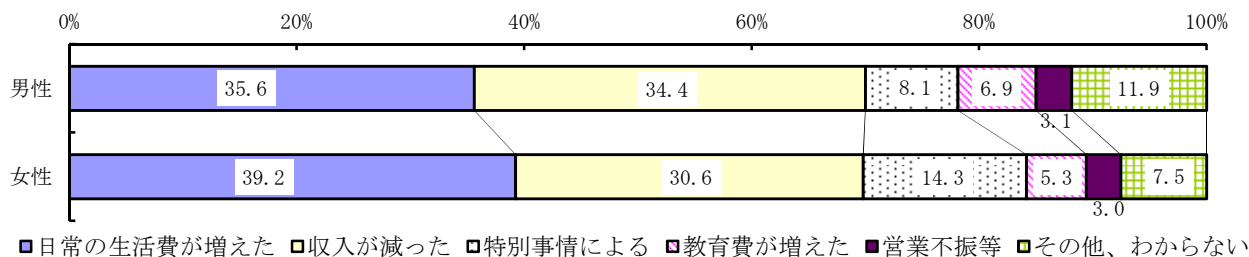
経年変化をみると、暮らし向きが悪くなった理由のうち「日常の生活費が増えた」と答えた人の割合は、前回調査よりも16.2ポイント増加しているが、「収入が減った(働き手が減った)」と答えた人の割合は、13.2ポイント減少している。

また、「営業不振、営業経費が増えた」は、前回調査より3.8ポイント減少している。



【性別】

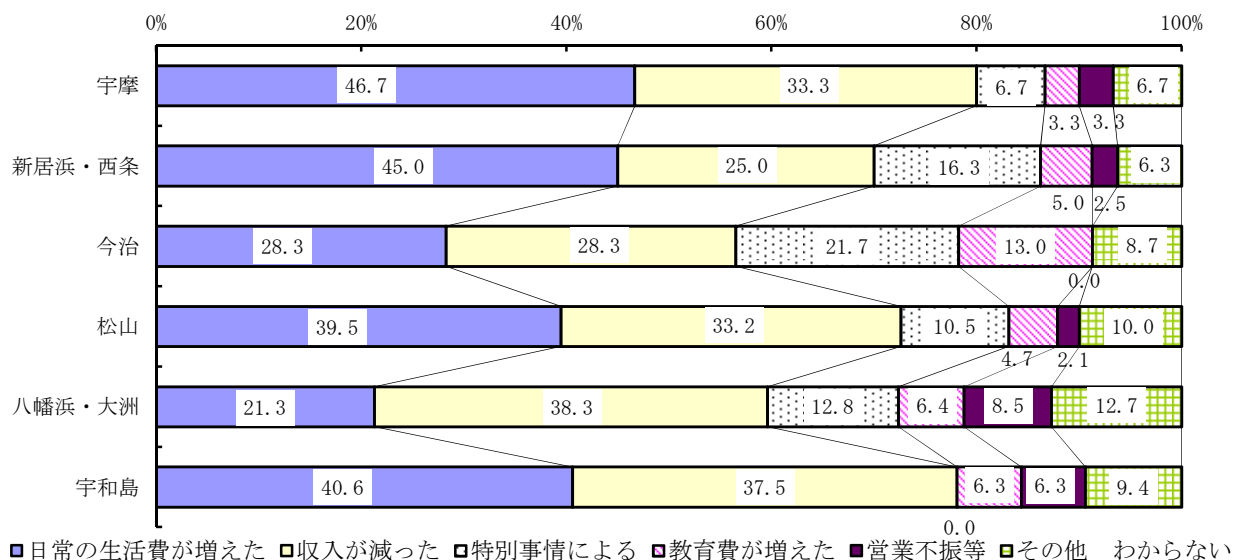
性別にみると、男女共に「日常の生活費が増えた」と答えた人の割合が最も多くなっている。（男性35.6%、女性39.2%）（前回調査と比較すると、男性で14.4ポイント増加、女性で17.6ポイント増加）また、「収入が減った」と答えた人の割合は、男性（34.4%）の方が女性（30.6%）よりも3.8ポイント多く、「特別事情による（結婚、出産、病気、災害など）」は女性の方が多くなっている。



【生活圏別】

生活圏別に見ると、八幡浜・大洲圏域を除く全ての圏域で「日常の生活費が増えた」と答えた人の割合が最も多いが、今治圏域では「収入が減った」も同率で最も多くなっている。中でも宇摩圏域（46.7%）、新居浜・西条圏域（45.0%）が多い。前回調査と比較すると、新居浜・西条圏域で24.5ポイント及び宇和島圏域で23.6ポイント増加している。

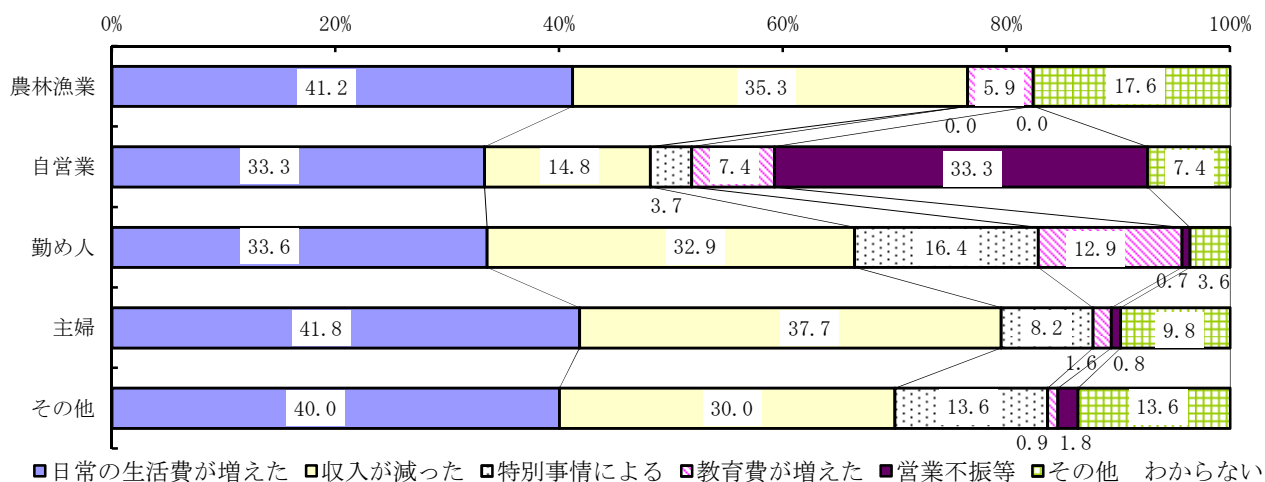
また、「収入が減った」と答えた人の割合は、新居浜・西条圏域で30.4ポイント及び宇摩圏域で15.0ポイント減少している。



【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「日常の生活費が増えた」と答えた人の割合が最も多いが、自営業では「営業不振など」も同率で最も多くなっている。前回調査と比較すると、自営業で29.4ポイント及び農林漁業で23.0ポイント増加している。

また、「収入が減った」と答えた人は、主婦（37.7%）及び農林漁業（35.3%）で多く、前回調査と比較すると、自営業で14.6ポイント及び農林漁業で10.2ポイント減少している。



問2 暮らし向きの変化

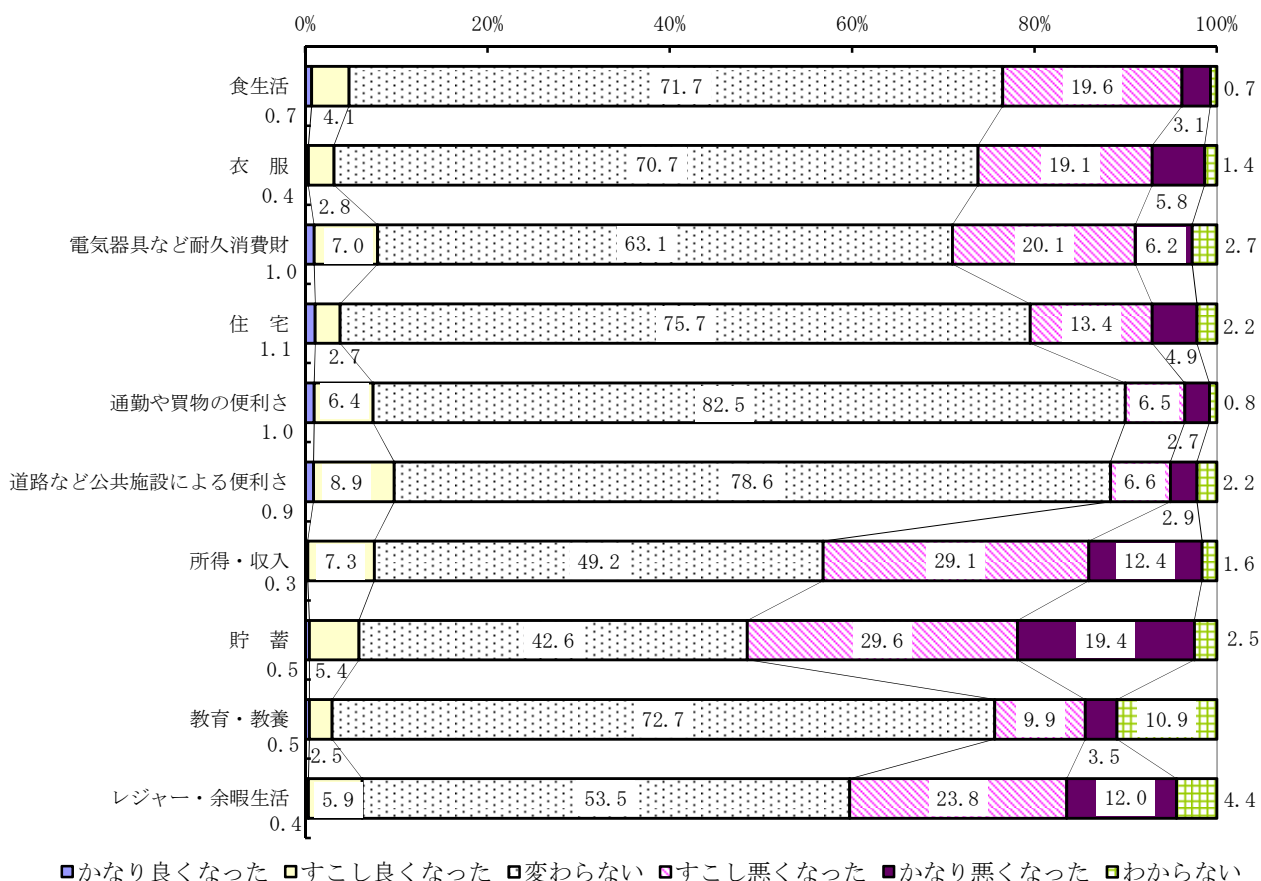
お宅の暮らしの中で、次の各項目は、昨年のごとりに比べ良くなりましたか。それとも悪くなりましたか。項目ごとにそれぞれ該当するものを一つずつ選んで番号を○で囲んでください。

項目	かなり良くなった	すこし良くなった	変わらない	すこし悪くなった	かなり悪くなった	わからない
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1 食生活	0.7	4.1	71.7	19.6	3.1	0.7
2 衣服	0.4	2.8	70.7	19.1	5.8	1.4
3 電気器具、家具、自動車 など耐久消費財	1.0	7.0	63.1	20.1	6.2	2.7
4 住宅	1.1	2.7	75.7	13.4	4.9	2.2
5 通勤や買物の便利さ	1.0	6.4	82.5	6.5	2.7	0.8
6 道路など公共施設による便利さ	0.9	8.9	78.6	6.6	2.9	2.2
7 所得・収入	0.3	7.3	49.2	29.1	12.4	1.6
8 貯蓄	0.5	5.4	42.6	29.6	19.4	2.5
9 教育・教養	0.5	2.5	72.7	9.9	3.5	10.9
10 レジャー・余暇生活	0.4	5.9	53.5	23.8	12.0	4.4

(参考)	良くなった	変わらない	悪くなった
1 食生活	4.8	71.7	22.7
2 衣服	3.2	70.7	24.9
3 電気器具、家具、自動車 など耐久消費財	8.0	63.1	26.3
4 住宅	3.8	75.7	18.3
5 通勤や買物の便利さ	7.4	82.5	9.2
6 道路など公共施設による便利さ	9.8	78.6	9.5
7 所得・収入	7.6	49.2	41.5
8 貯蓄	5.9	42.6	49.0
9 教育・教養	3.0	72.7	13.4
10 レジャー・余暇生活	6.3	53.5	35.8

暮らしの各面から10項目を取り上げ、昨年と比べて「良くなった」（「かなり良くなった」及び「すこし良くなった」）と思うか、それとも「悪くなった」（「すこし悪くなった」及び「かなり悪くなった」）と思うかをそれぞれ聞いたところ、「所得・収入」及び「貯蓄」の項目で「悪くなった」と答えた人の割合が多くなっている。（「所得・収入」：41.5%、「貯蓄」：49.0%）

また、「良くなった」と答えた人の割合が比較的多い項目としては「道路など公共施設による便利さ」（9.8%）、「電気器具、家具、自動車など耐久消費財」（8.0%）などが挙げられるが、「道路など公共施設による便利さ」を除く全ての項目で「悪くなった」を下回っている。

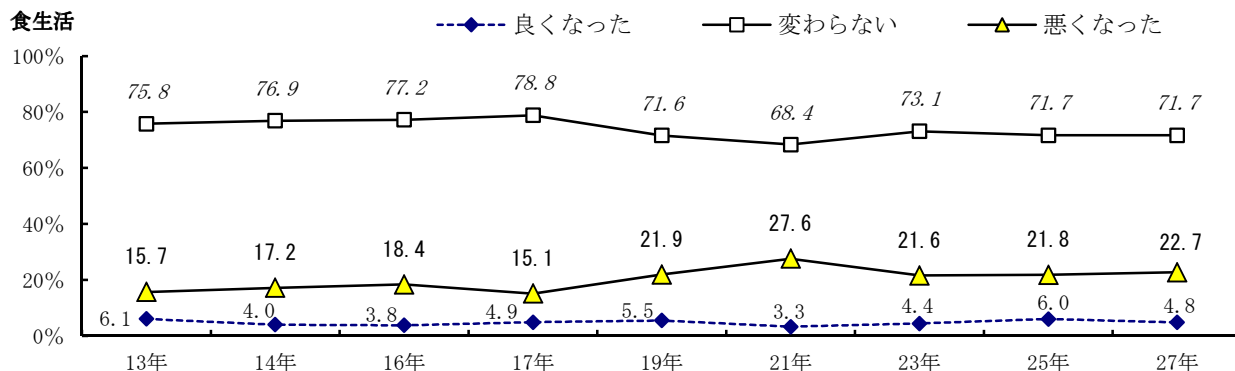


■かなり良くなった □すこし良くなった □変わらない □すこし悪くなった ■かなり悪くなった □わからない

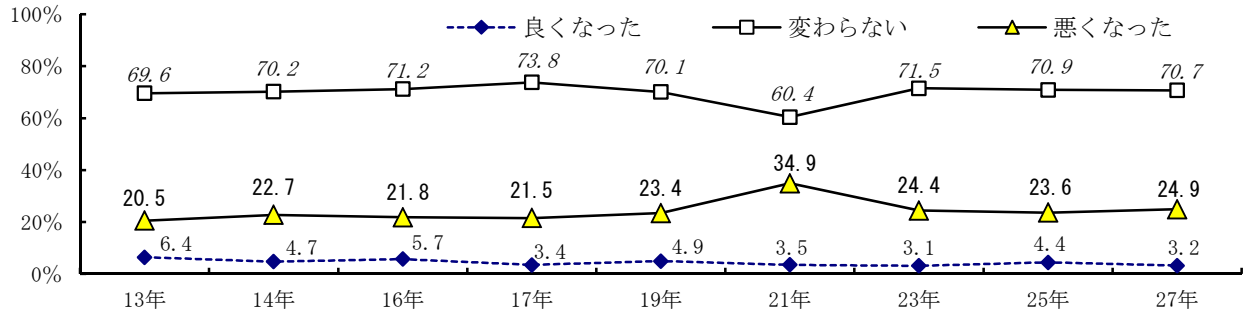
【経年変化】

経年変化をみると、前回調査と比較して、「良くなった」と答えた人の割合が、「所得・収入」及び「貯蓄」を除く全ての項目において減少している。

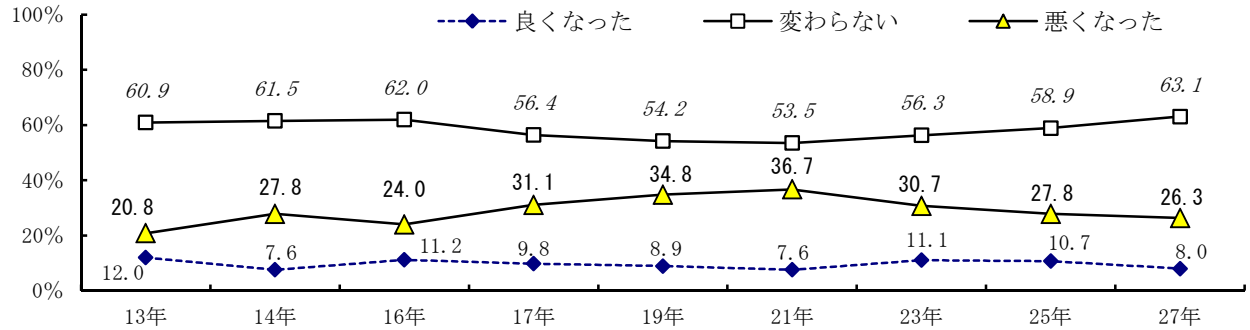
また、「悪くなった」と答えた人の割合は、「食生活」「衣服」「住宅」（「道路など公共施設による便利さ」は同率）を除く全ての項目において減少しているが、特に、「所得・収入」は、6.3ポイント減少している。



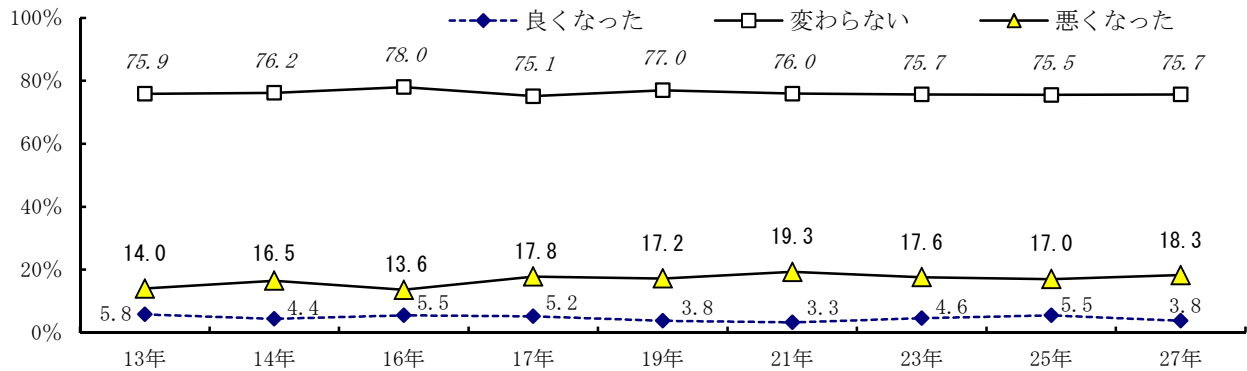
衣服



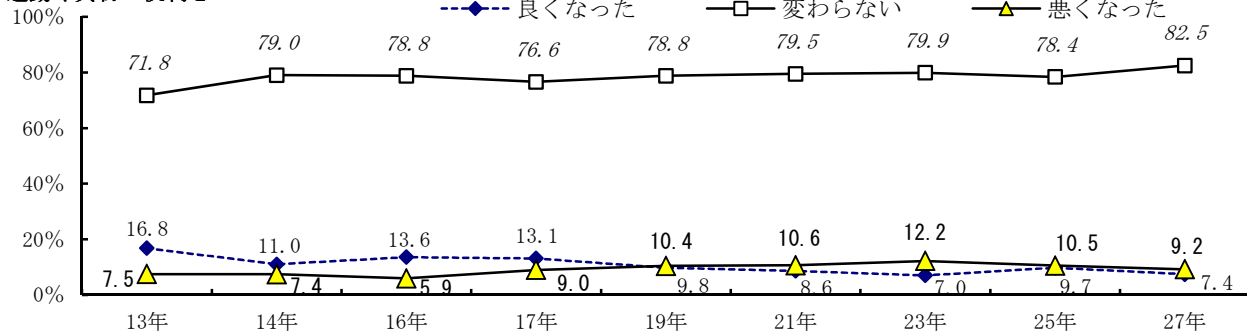
電気器具など耐久消費財



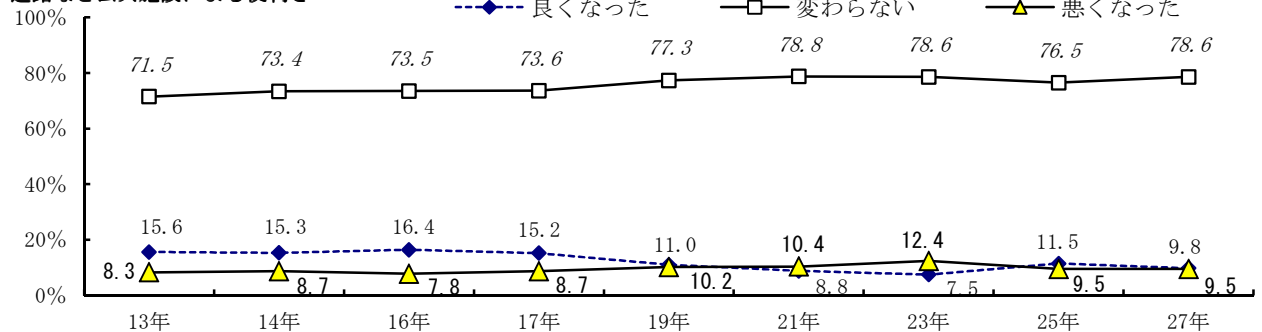
住宅



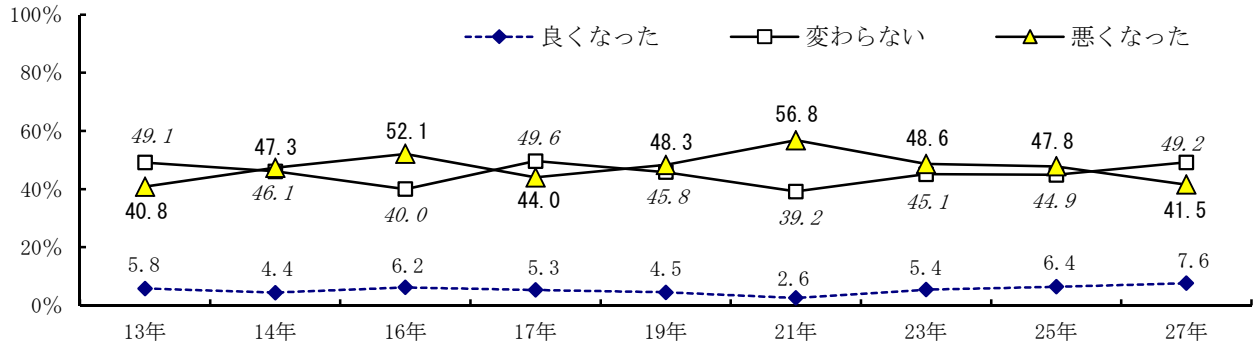
通勤や買物の便利さ



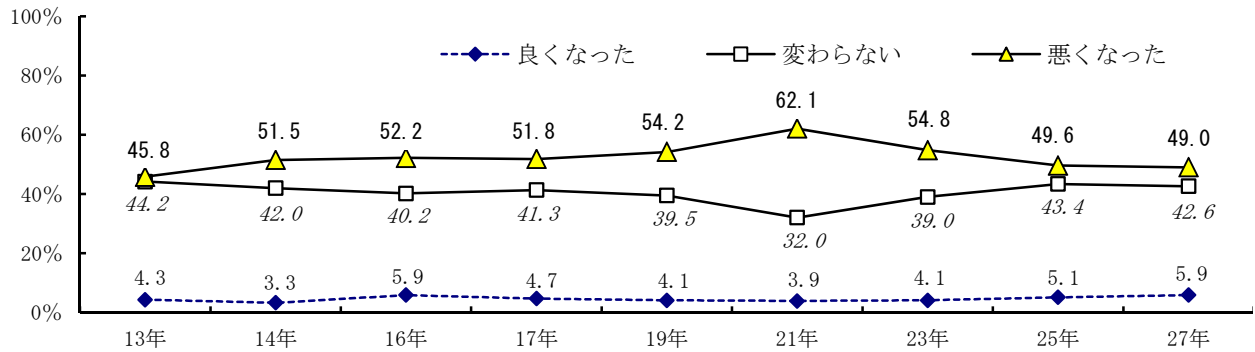
道路など公共施設による便利さ



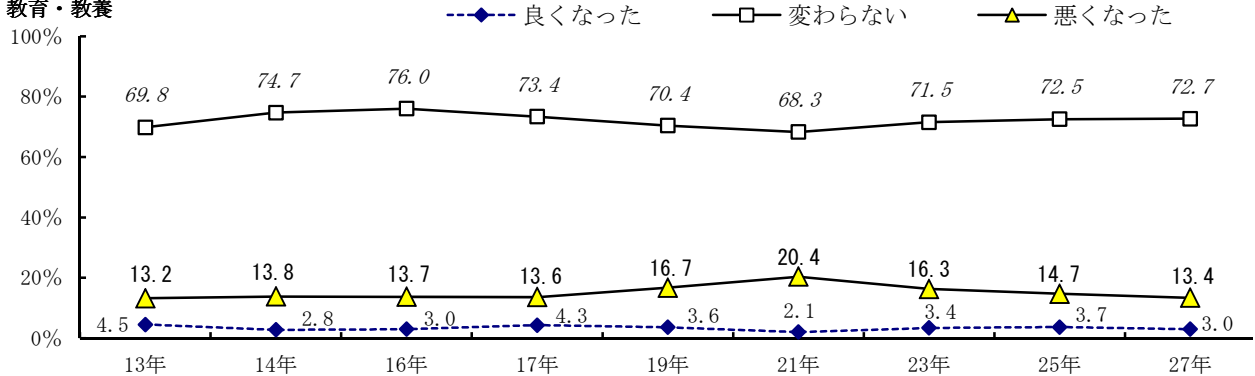
所得・収入



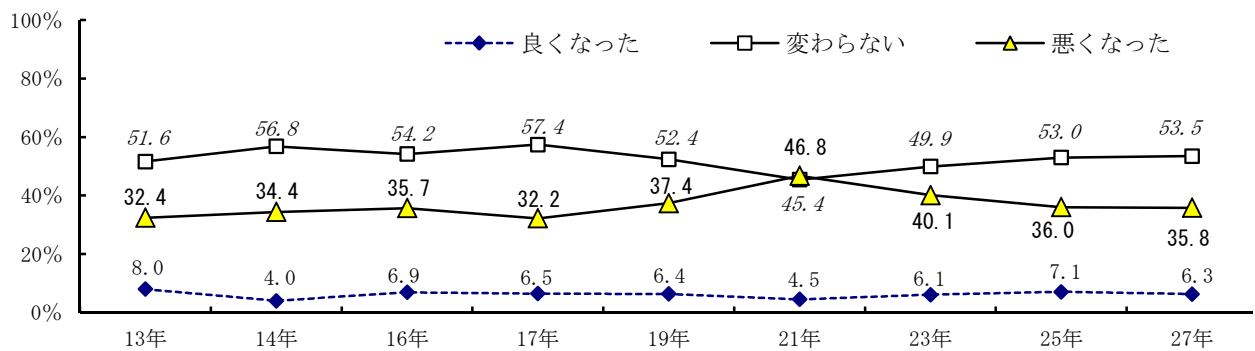
貯蓄



教育・教養



レジャー・余暇生活



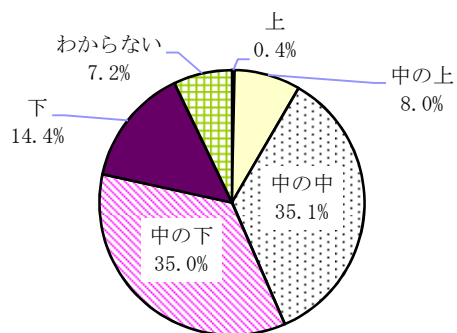
問3 暮らし向きの程度

お宅の暮らしの程度は、世間一般からみて、次のどれに入りますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

番号	程度	割合 (%)
1	上	0.4
2	中の上	8.0
3	中の中	35.1
4	中の下	35.0
5	下	14.4
6	わからない	7.2

暮らし向きの程度を世間一般からみてどの程度だと思っているかを聞いたところ、「中の中」と答えた人の割合が35.1%で最も多く、「中の上」(8.0%)及び「中の下」(35.0%)と合わせて78.1%の人が中流意識を示している。

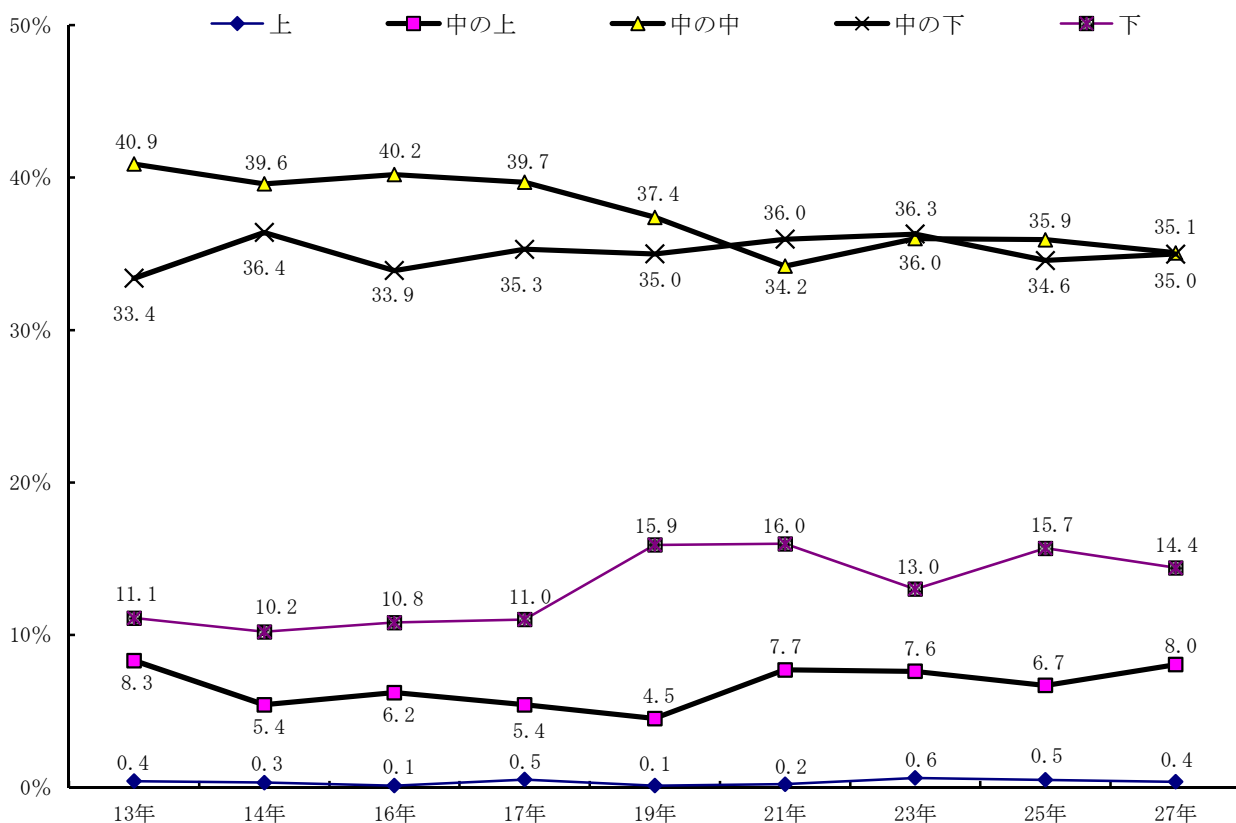
また、「上」と答えた人の割合は0.4%、「下」と答えた人の割合は14.4%であった。



【経年変化】

経年変化をみると、暮らし向きに対する県民の中流意識は引き続き強く、いずれの調査年においても、80%程度の人が、自分の家庭の暮らし向きの程度を中程度だと評価しているが、今回の調査では、「中」と答えた人の割合は、前回調査と比較して0.9ポイント増加している。

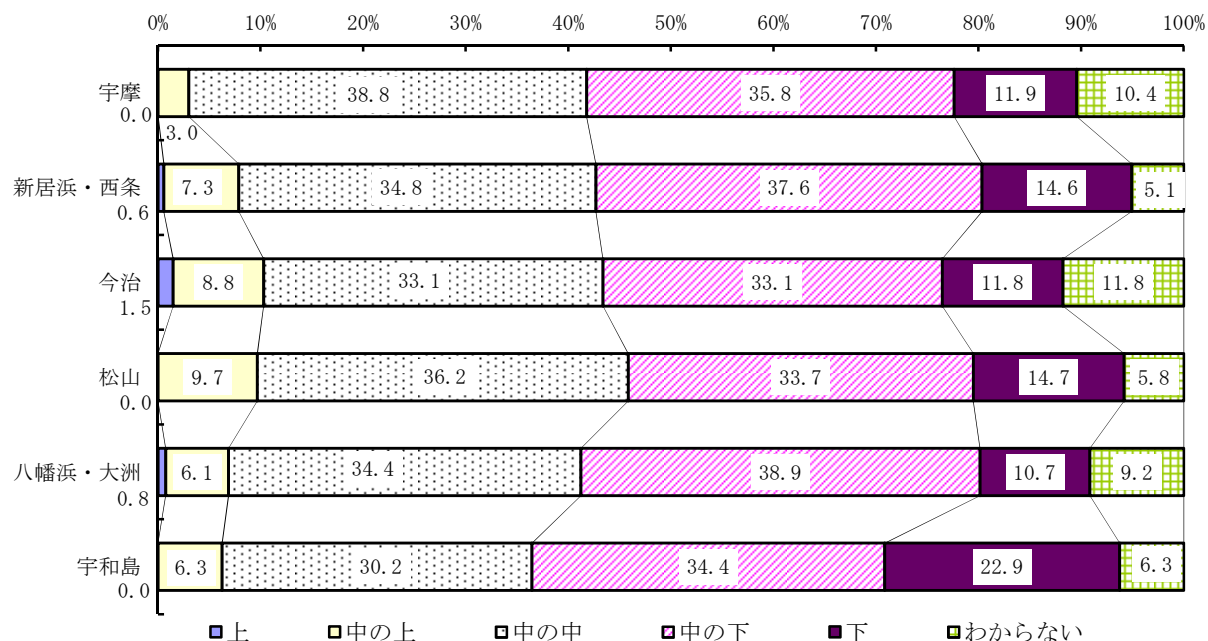
また、「下」と答えた人の割合は1.3ポイント減少している。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域、今治圏域及び松山圏域では「中の中」と答えた人の割合が最も多いが、今治圏域では「中の下」と答えた人も同率で多くなっている。新居浜・西条圏域、八幡浜・大洲圏域及び宇和島圏域では「中の下」と答えた人の割合が最も多い。

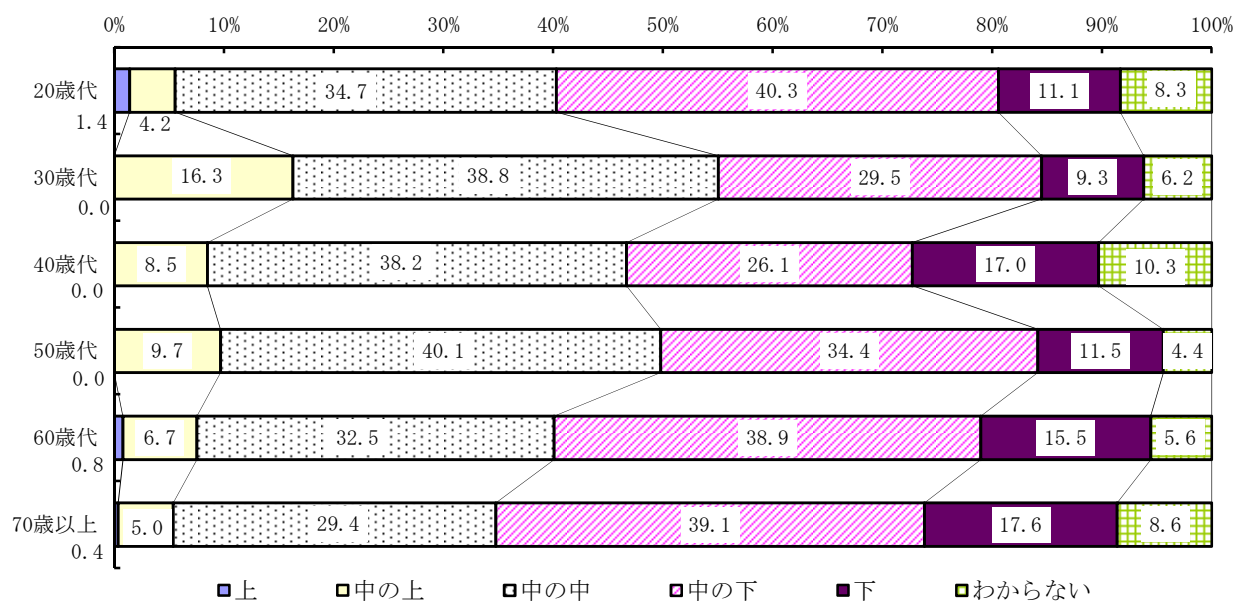
また、前回調査と比較すると、「下」と答えた人の割合は、宇和島圏域で前回調査より5.3ポイント増加している。



【年齢別】

年齢別にみると、30歳代から50歳代の年齢層では、「中の中」と答えた人の割合が最も多く、20歳代及び60歳代以上では、「中の下」が最も多くなっている。中でも20歳代（40.3%）では「中の下」が前回調査より11.2ポイント増加している。

また、前回調査と比較すると、20歳代で「下」と答えた人の割合が前回調査より6.3ポイント減少し、30歳代で「中の下」は8.5ポイント減少している。



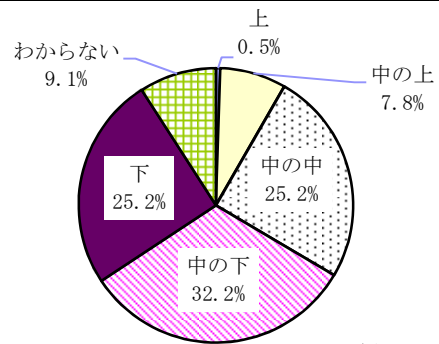
問4 資産の程度

お宅の資産（土地、家屋、預貯金等）は、世間一般からみて、次のどれに入りますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 上	0.5
2 中の上	7.8
3 中の中	25.2
4 中の下	32.2
5 下	25.2
6 わからない	9.1

資産（土地、家屋、預貯金等）を世間一般からみてどの程度だと思っているかを聞いたところ、「中の下」と答えた人の割合が32.2%で最も多く、「中の中」（25.2%）及び「中の上」（7.8%）と合わせて65.2%の人が中流意識を示しているが、問3の暮らし向きの程度（中：78.1%、下：14.4%）と比較すると評価が低い。

また、「上」と答えた人の割合は0.5%、「下」と答えた人の割合は25.2%であった。

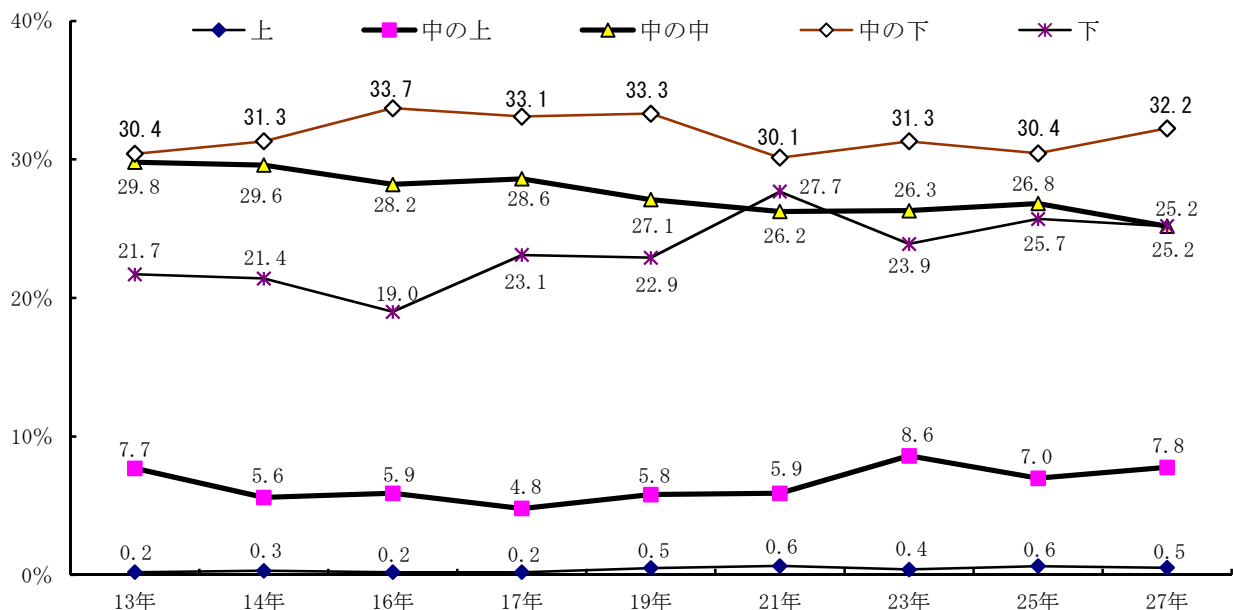


(中 65.2%)

【経年変化】

経年変化をみると、資産に対する県民の中流意識は引き続き強く、前回調査と比較すると「中」と答えた人の割合は、1.0ポイント増加している。

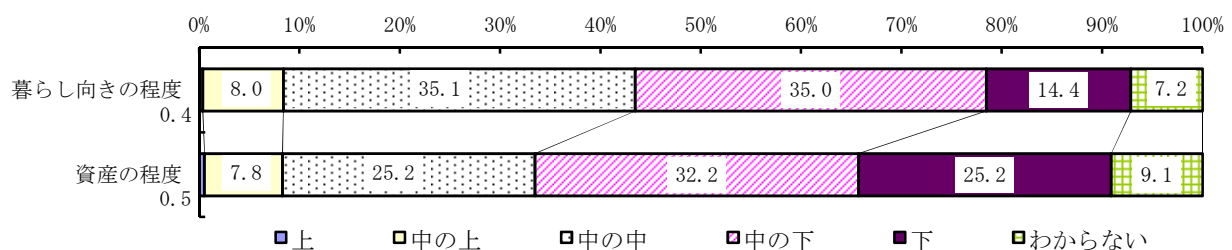
また、「下」と答えた人の割合が、前回調査より0.5ポイント減少し、「中の下」と答えた人は、1.8ポイント増加している。



【暮らし向きの程度と資産の程度】

問3の暮らし向きの程度と問4の資産の程度の意識を比較してみると、暮らし向きの程度の方は「中の中」、資産の程度の方は「中の下」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、「中」と答えた人の割合は暮らし向きの程度の方が12.9%多く、「下」は資産の程度の方が10.8%多くなっている。



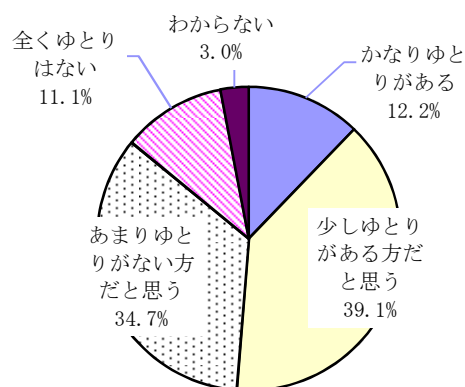
問5 生活のゆとり感

あなたは、普段の生活で時間的なゆとりがある方だと思いますか。それともない方だと思いますか。次の中から**二つ選んで**番号を○で囲んでください。

	(%)
1 かなりゆとりがある	12.2
2 少しゆとりがある方だと思う	39.1
3 あまりゆとりがない方だと思う	34.7
4 全くゆとりはない	11.1
5 わからない	3.0

普段の生活における時間的なゆとりの有無について聞いたところ、「ゆとりがある」と答えた人の割合は、51.3%（「かなりゆとりがある」(12.2%)、「少しゆとりがある方だと思う」(39.1%)）であった。

また、「ゆとりがない」は45.8%（「あまりゆとりがない方だと思う」(34.7%)、「全くゆとりはない」(11.1%)）であり、時間的なゆとりがあると感じている人の方が、やや多くなっている。

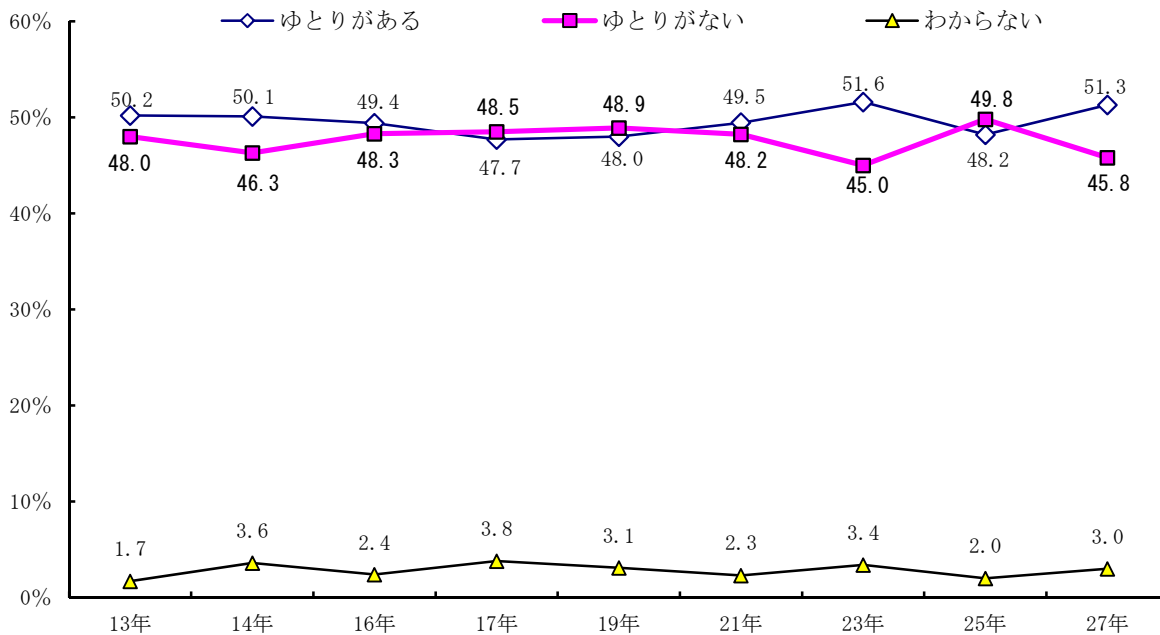


(ゆとりはない 45.8%)

(ゆとりがある 51.3%)

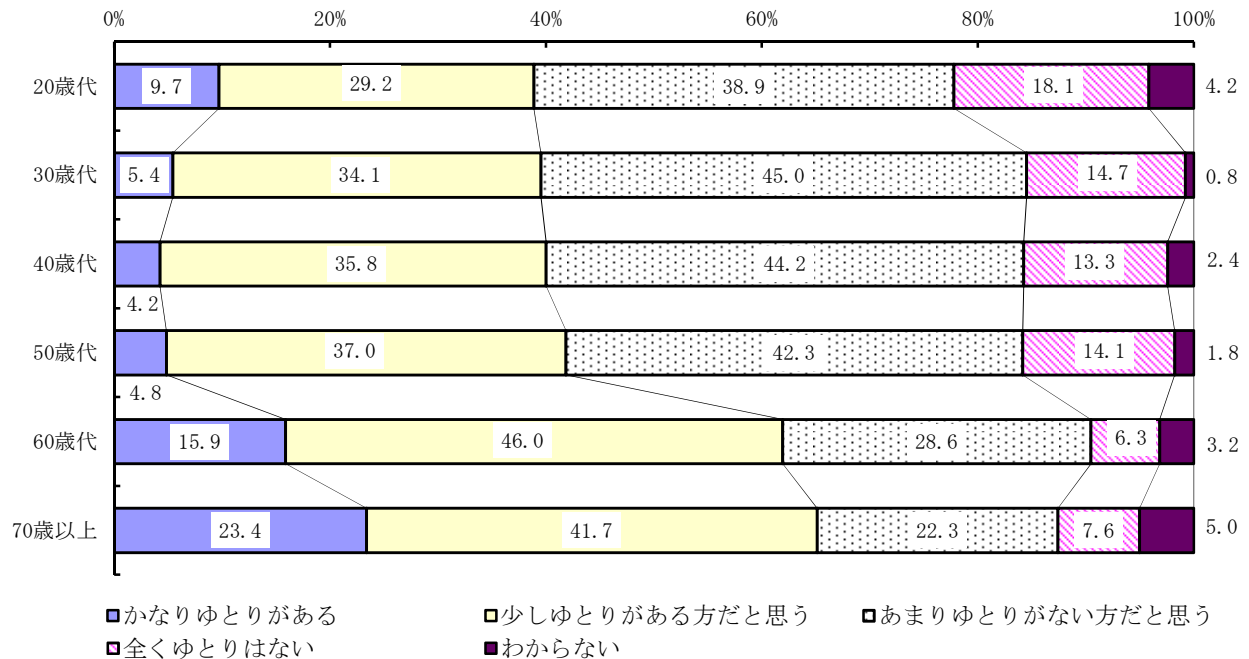
【経年変化】

経年変化をみると、「ゆとりがある」と答えた人の割合は、前回調査より3.1ポイント増加し、「ゆとりがない」は、4.0ポイント減少している。



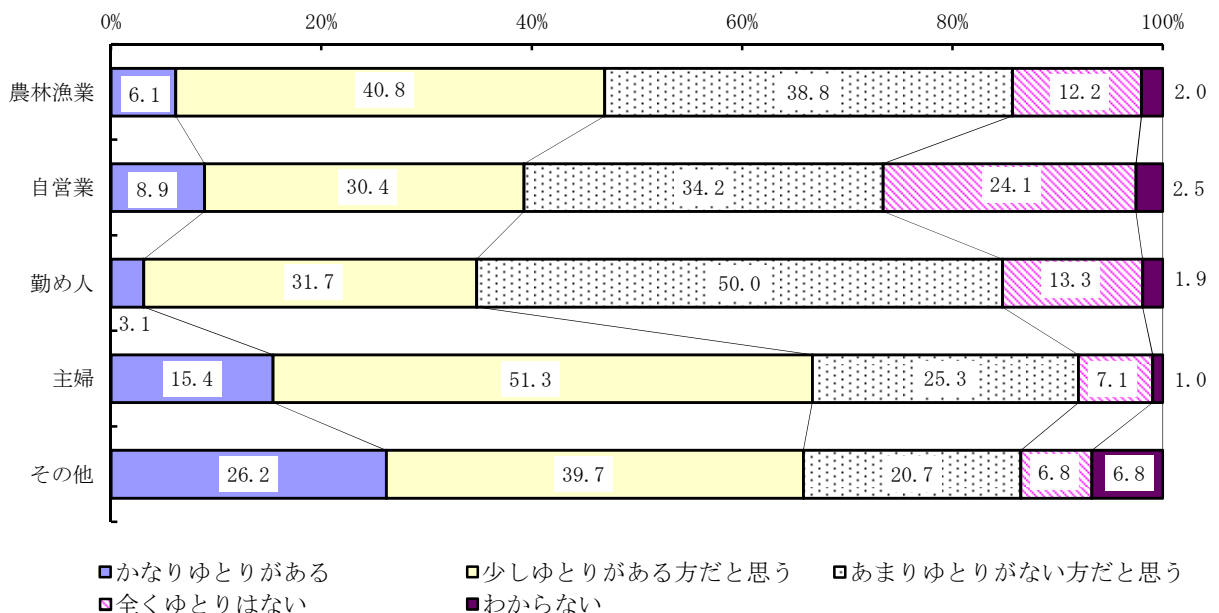
【年齢別】

年齢別にみると、60歳代以上では「ゆとりがある」と答えた人の割合の方が多く、50歳代以下では「ゆとりがない」の方が多くなっている。



【職業別】

職業別にみると、主婦及びその他では「ゆとりがある」と答えた人の割合が60%以上で、「ゆとりがない」を大きく上回っている。農林漁業、自営業及び勤め人では「ゆとりがない」の方が多く、勤め人では、63.3%で特に多くなっている。

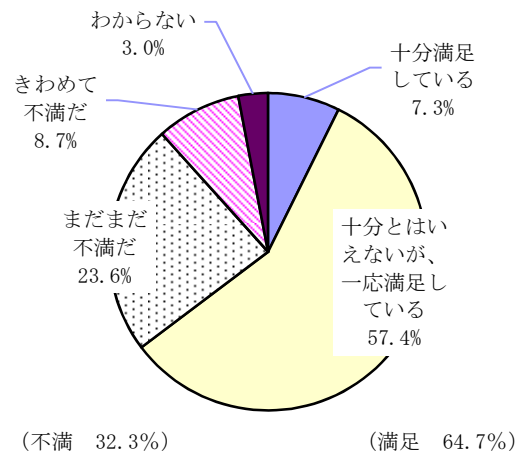


問6 暮らしに対する満足度

あなたは、現在のお宅の暮らしに満足していますか。それとも不満ですか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 十分満足している	7.3
2 十分とはいえないが、一応満足している	57.4
3 まだまだ不満だ	23.6
4 きわめて不満だ	8.7
5 わからない	3.0

現在の暮らしに満足しているか、それとも不満かを聞いたところ、「満足」と答えた人の割合が64.7%（「十分満足している」（7.3%）、「十分とはいえないが、一応満足している」（57.4%））であったのに対し、「不満」は32.3%（「まだまだ不満だ」（23.6%）、「きわめて不満だ」（8.7%））で、現在の暮らしに満足していると感じている人の方が多くなっている。

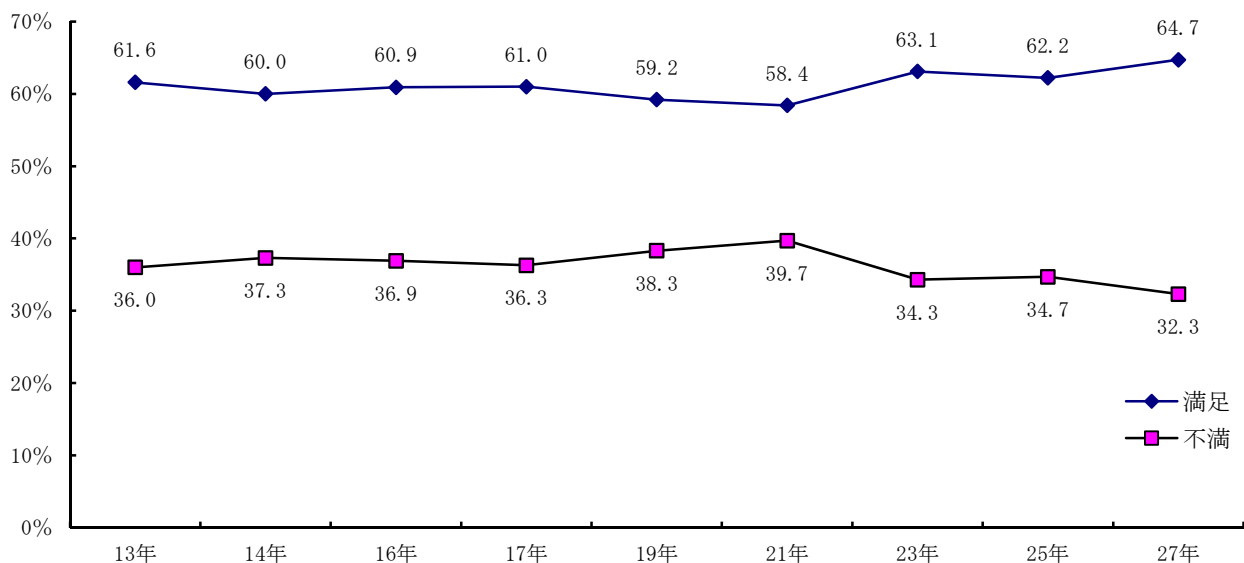


【経年変化】

経年変化をみると、「満足」と答えた人の割合は、前回調査より2.5ポイント増加している。

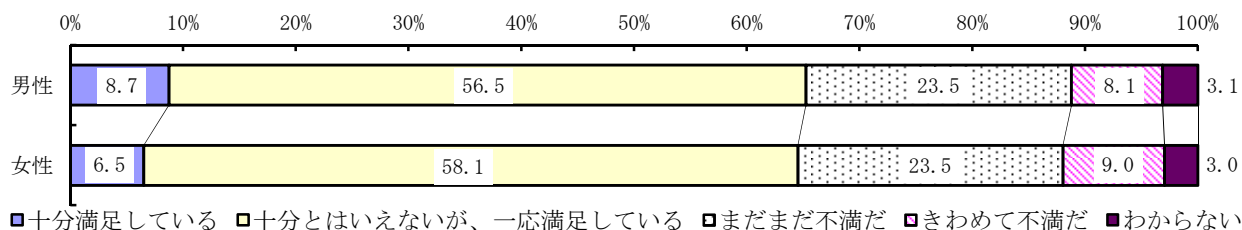
一方、「不満」と答えた人の割合は、前回調査より、2.4ポイント減少している。

また、「満足」と答えた人の割合は、平成21年の調査と比較して増加傾向で、「不満」と答えた人は、減少傾向となっている。



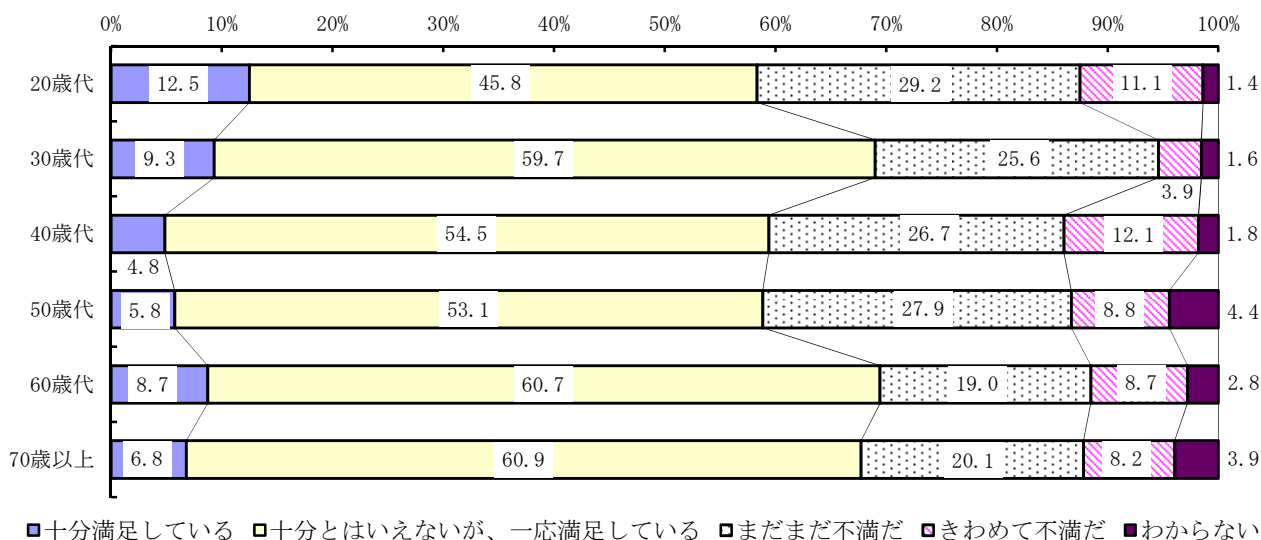
【性別】

性別にみると、「満足」と答えた人の割合は、男性で65.2%、女性で64.6%で、どちらも60%を超えているが、男性の方が0.6ポイント多くなっている。（前回調査は女性の方が3.3ポイント多い。）
 一方、「不満」と答えた人の割合は、男性が31.6%、女性が32.5%で、女性の方が0.9ポイント多くなっている。（前回調査は男性の方が2.6ポイント多い。）



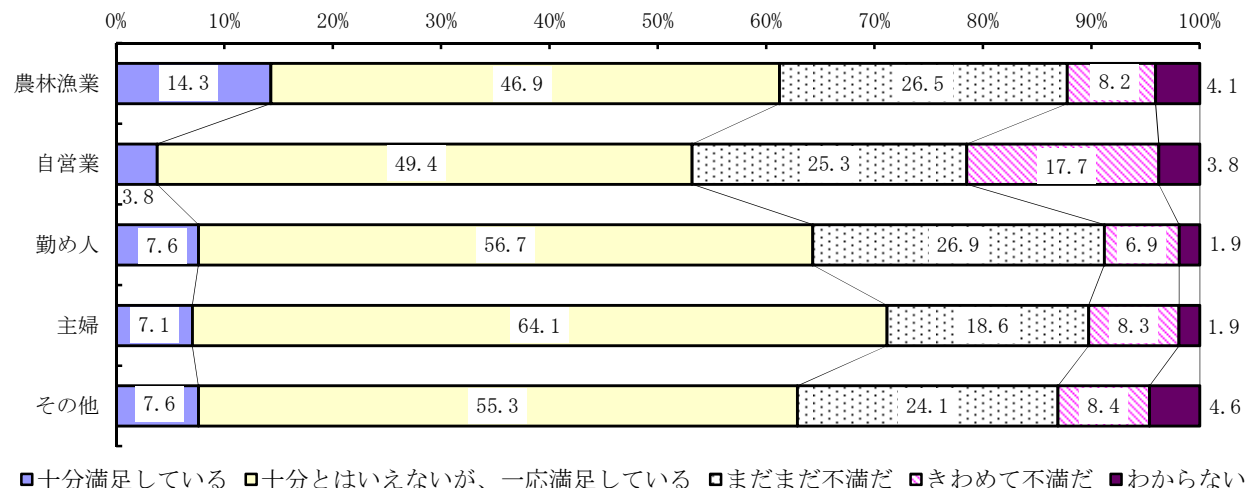
【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「満足」と答えた人の割合が「不満」を上回っており、60歳代（「満足」：69.4%、「不満」：27.7%）で最も上回っている。
 一方、「不満」と答えた人の割合は、20歳代（40.3%）で最も多く、以下40歳代（38.8%）、50歳代（36.7%）の順となっている。
 また、前回調査と比較すると、「満足」と答えた人の割合が20歳代で8.0ポイント減少している。



【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「満足」と答えた人の割合が「不満」を上回っており、中でも主婦（「満足」：71.2%、「不満」：26.9%）、勤め人（「満足」：64.3%、「不満」：33.8%）で大きく上回っている。
 一方、「不満」と答えた人の割合は、自営業（43.0%）で最も多く、以下農林漁業（34.7%）、勤め人（33.8%）の順となっている。
 また、前回調査と比較すると、農林漁業では「十分とはいえないが、一応満足している」と答えた人の割合が19.8ポイント減少し、自営業では「まだまだ不満だ」は、9.1ポイント減少している。

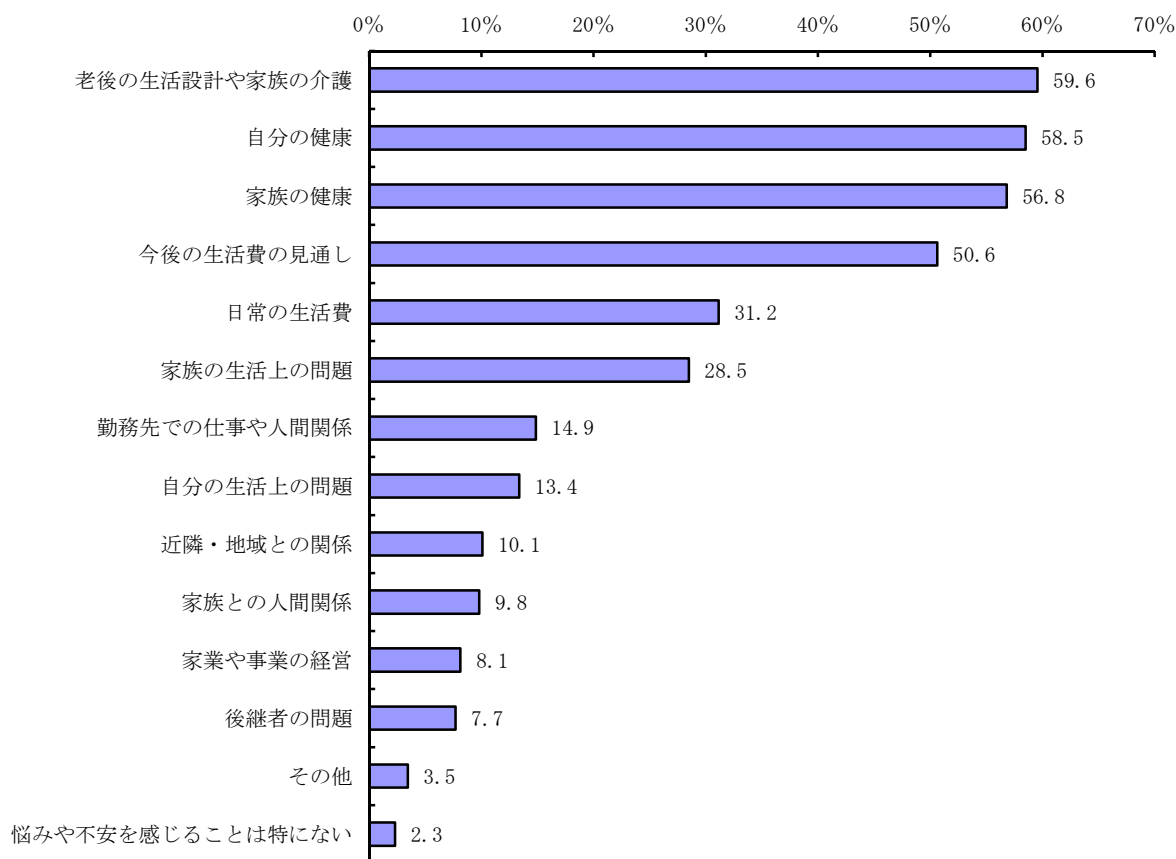


問7 日常生活での悩みや不安

あなたが、日常生活の中で悩みや不安を感じていることがあれば、次の中からいくつでも選んで番号を○で囲んでください。

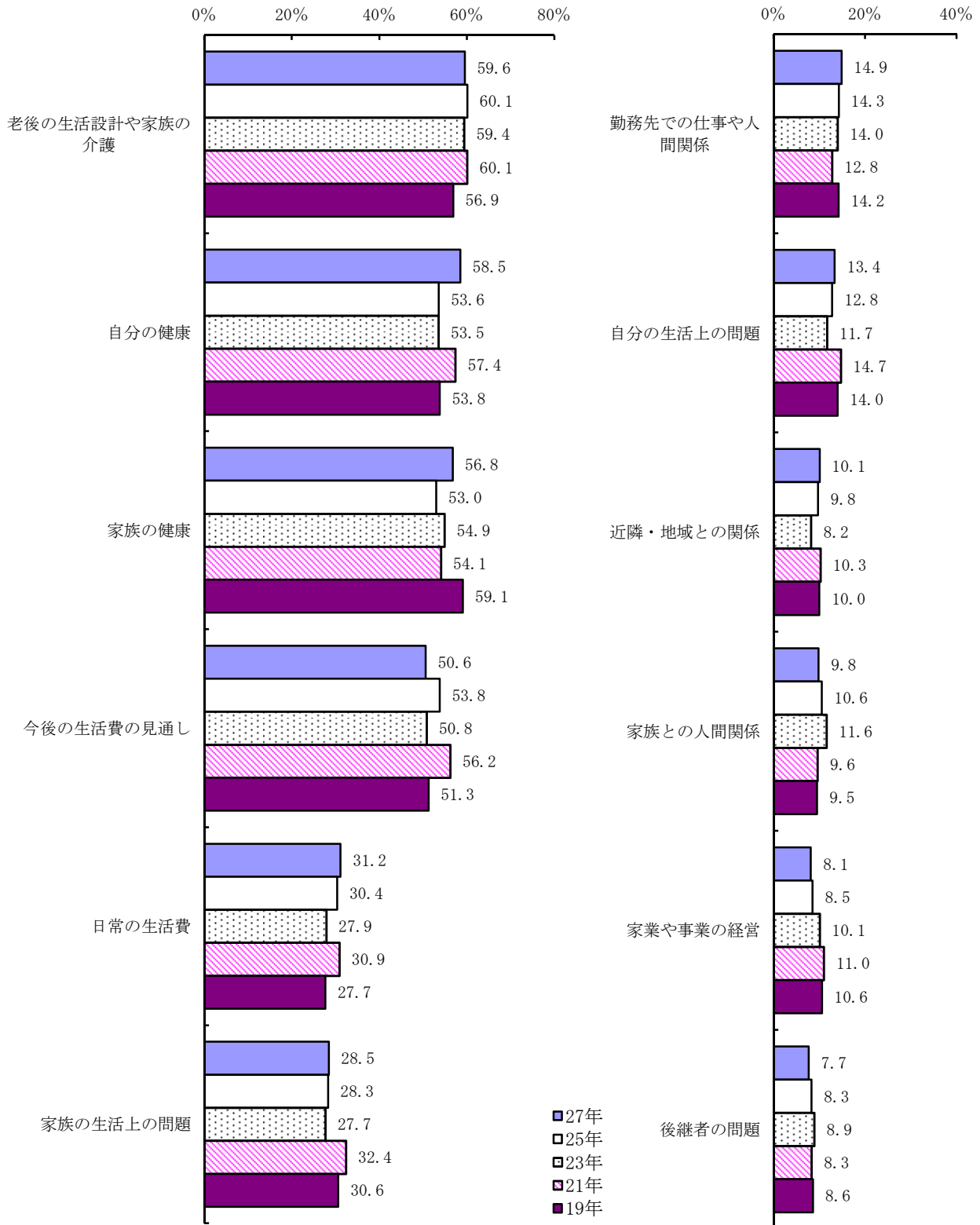
	(複数回答)	(%)
1 自分の健康について		58.5
2 家族の健康について		56.8
3 自分の生活（進学、就職、結婚など）上の問題について		13.4
4 家族の生活（進学、就職、結婚など）上の問題について		28.5
5 日常の生活費について		31.2
6 今後の生活費の見通しについて		50.6
7 後継者の問題（家業、農林漁業の将来）について		7.7
8 家業や事業の経営（農林漁業を含む）について		8.1
9 家族との人間関係について		9.8
10 近隣・地域との関係について		10.1
11 勤務先での仕事や人間関係について		14.9
12 老後の生活設計や家族の介護について		59.6
13 その他		3.5
14 悩みや不安を感じることは特にない		2.3

日常生活の中で悩みや不安を感じていることがらを聞いたところ、「老後の生活設計や家族の介護について」と答えた人の割合が、59.6%と最も多く、以下「自分の健康について」（58.5%）、「家族の健康について」（56.8%）、「今後の生活費の見通しについて」（50.6%）の順であり、将来の生活や健康に関する悩みや不安を感じている人が多くなっている。



【経年変化】

経年変化をみると、悩みや不安の上位の項目は、平成19年調査以降大きな変化は見られず、「老後の生活設計や家族の介護」に関する悩みや不安を感じている人が多い。



【年齢別】

年齢別にみると、20歳代では「自分の生活上の問題」、30歳代では「今後の生活費の見通し」、40歳代から50歳代では「老後の生活設計や家族の介護」、60歳以上では「自分の健康」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、20歳代では「自分の生活上の問題」と答えた人の割合が他の年齢層と比較して特に多くなっている。「老後の生活設計や家族の介護」は、50歳代で他の年齢層と比較して多く、「自分の健康」は、年齢層が高くなるほど多い。「家族の健康」は、50歳代から60歳代で多くなっているなど、各年齢層によって悩みや不安を感じている項目に大きな違いが見られる。

